

私が学生の頃に比べると激減しましたが それでも世界屈指の鉄道国です 同時に日本ほど鉄道風景が季節感に富む国も他にありません 房総半島を横断する「いすみ鉄道」は なつかしい国鉄時代の車両がそのままの塗装で元気に走り続けています この列車には菜の花がよく似合います 「一日乗車券」も発売されているので 春の一日 ゆっくり列車に揺られてみようと思っています



これが完成した絵です



1、下絵は「0.9mmのシャープペンシル」で描いています 素早く描いたあと 平筆を使って下地の色をつけます 空→地面→背後の森の順です



4、少しずつ色を重ねていきます 画の全体を見て すべての部分に不公平のないように色を置いていきます 一部分だけが丁寧にならないように



2、主題の列車の塗装は ジョン・ブリアン(肌色)を一様に塗っておきます この時点では家屋も列車も立体感は無視します



5、菜の花の茎だけを描いておきます シャドウ・グリーン(深緑色)を使って 細筆で縦に軽妙なタッチで描きます



3、画面左側から光が当たっていると意識して描きます 列車の側面(客室の窓のある面)は 細かく着彩する前に影をつけておいたほうが良いです



6、左の家屋手前の樹木には何も咲いていなかったのですが 白梅を咲かせてみました こういところが絵の面白いところです このあと「パステル鉛筆(黄色)」で一気に菜の花を描いて完成です